

御嶽山の火山活動に関する国土交通省の対応状況

1. 救助、下山支援

【9/27(土)】

○15:15 官邸リエゾンを派遣。

○19:10 より濁河温泉（下呂市側）の下山道にて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

【9/28(日)】

○災害対策用機械 14 台が稼働。

- ・ 3:00 時点で照明車両 5 台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 3 台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は 4:20 作業完了。
- ・ 衛星通信車 2 台、Ku-SAT1 台によりヘリ画像等を通信。

○リエゾン 11 名派遣（王滝村 1 名、木曾町 1 名、長野県庁 2 名、長野県木曾地方事務所 1 名、高山市 2 名、下呂市 2 名、岐阜県庁 2 名）。

○TEC-FORCE の派遣

中部地方整備局より、19 名派遣（9/27：13 名派遣）。

○19:05 防衛省と調整し、「9 月 28 日 19 時 05 分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径 5 海里（約 9.3km）以内、地上から 11,000ft（約 3,400m）までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報（ノータム）を発行（11:51 に発行した航空情報を更新）。

【9/29(月)】

○災害対策用機械 7 台が稼働中。

- ・ 照明車両 2 台が自衛隊等入山の支援のため稼働中。
- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 1 台で実施。
- ・ Ku-SAT 1 台により王滝村役場において CCTV 画像等を配信。

○リエゾン 9 名派遣中（王滝村 2 名、木曾町 2 名、長野県庁 2 名、長野県木曾地方事務所 1 名、岐阜県庁 2 名）。

○TEC-FORCE の派遣

中部地方整備局より、9 名派遣。

○政府現地対策本部へ、国土交通本省より 1 名、中部地方整備局より 1 名、

北陸信越運輸局より2名、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣（9/28～29）

【9/30(火)】

- 災害対策用機械9台が待機又は稼働中（照明車両2台、路面清掃車3台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT2台）。
- リエゾン9名派遣中（王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名、長野県木曾地方事務所1名、岐阜県庁2名）。
- TEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、4名派遣。
- 政府現地対策本部へ5名の派遣を継続中。

【10/1(水)】

- 災害対策用機械6台が待機又は稼働中（照明車2台、路面清掃車1台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT1台）。
- リエゾン6名派遣中（王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名）。
- TEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、10名派遣。
- 政府現地対策本部へ5名の派遣を継続中。加えて、国土地理院より1名を派遣（9/29～）

【10/2(木)】

- 災害対策用機械7台が待機又は稼働中（照明車2台、路面清掃車1台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT2台）。
- リエゾン6名派遣中（王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名）。
- TEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、10名派遣。
- 政府現地対策本部へ6名の派遣を継続中。

2. 二次災害防止対策

【9/27(土)】

- 16:05 防災ヘリによる上空調査により、山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。（ヘリからの目視確認）
- 土砂災害防止法に基づく緊急調査のため、国総研・土研より砂防専門家3名を現地に派遣。

【9/28(日)】

- 6:02 から噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策を検討するための防災ヘリによる緊急調査を実施（砂防専門家3名等）。
- 地上における降灰状況調査に着手。
- 気象庁から関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の予想）を提供。（5:00 から1日2回の提供）。

○救助活動中の二次災害を防止するため、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。

○今後の応急対策に資する備蓄資材（大型土のう袋等）を確保済み。

【9/29(月)】

○砂防専門家3名により、噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策を検討するための緊急調査を継続。

○地上における降灰状況調査を継続。UAV（無人ヘリ）を用いて、立入規制区域を含めて調査を実施中。

○気象庁から関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の前想）の提供を継続。

○中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家等の御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/29、12:00～)。

【9/30(火)】

○砂防専門家2名による緊急調査を継続。

○気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の前想）の提供を継続。

○中部、関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30、9:30～)。

【10/1(水)】

○砂防専門家2名による緊急調査を継続。

○気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の前想）の提供を継続。

○監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川に設置するための現地調査を実施中(9/30～)。

○今後の降雨に伴う土石流などの二次災害に対処するため、流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積み砂防堰堤1基を緊急的に設置予定(10/2～)。

【10/2(木)】

●砂防専門家2名による緊急調査を継続。

●気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の前想）の提供を継続。

●監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川に順次設置中。

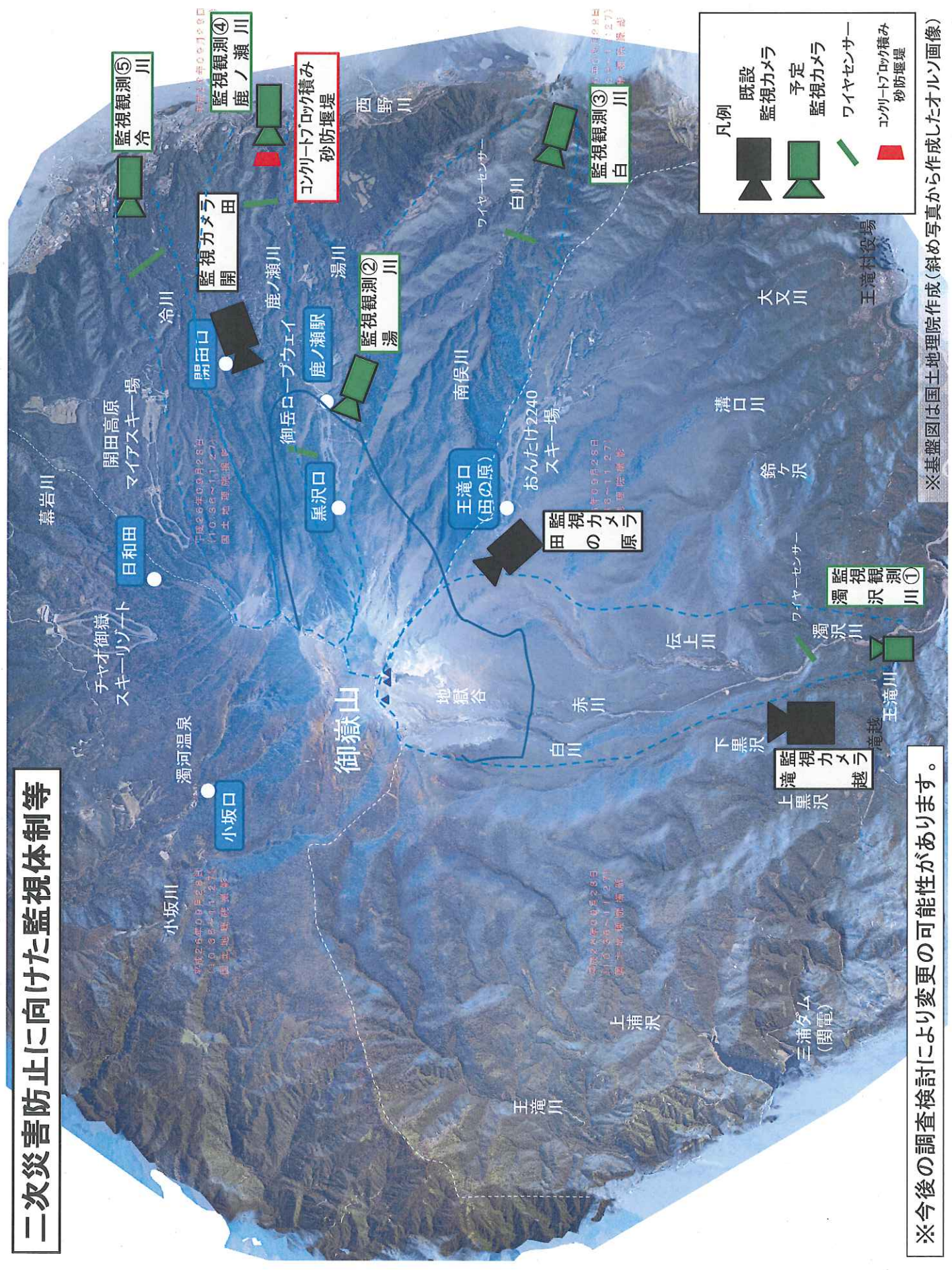
●鹿ノ瀬川のコンクリートブロック積み砂防堰堤1基を設置中。

●長野県、岐阜県、王滝村、木曾町に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」を情報提供・説明し、注意喚起を実施。

3. その他

- 長野県道1路線、木曾町道4路線、王滝村道1路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施中。
- 9月27日13:35以降、気象庁から降灰予報を約6時間毎に発表している。
- 御嶽ロープウェイ運休中。
- おんたけ交通 バス3路線運休中。
- 気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報（ノータム）を発行（9月27日12:21）。以降、継続して発行（23通目10月1日3:12）。
- 9月29日 御嶽山の噴火周辺地域の斜め写真による3D動画を国土地理院HPで公開。
- 10月1日 撮影したSAR画像から火口位置を推定し、国土地理院HPで公開。

二次災害防止に向けた監視体制等



凡例

- 既設 監視カメラ (Black camera icon)
- 予定 監視カメラ (Green camera icon)
- ワイヤセンサー (Green line icon)
- コンクリートブロック積み砂防堰堤 (Red rectangle icon)

※基礎図は国土地理院作成(斜め写真から作成したオルソ画像)

※今後の調査検討により変更の可能性がございます。

御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項

9 月 27 日以降の噴火により火山灰が堆積した範囲では、少ない雨で火山灰が流出し、土石流が発生する可能性があります。今回の噴火による火山灰の顕著な堆積範囲は山頂付近と王滝川支川濁沢川流域となっています。

山頂付近の火山灰の影響がある流域は鹿ノ瀬川、湯川、白川、濁沢川であるが、鹿ノ瀬川、湯川、白川は、火山灰の範囲から判断して、現在予想されているような通常の雨では、集落までの距離も長いことから、集落に達するような大規模な土石流のおそれは小さいと考えられます。

また、濁沢川から王滝川へ合流するまでの区間に人家はなく、さらに王滝川から牧尾ダム湖までの集落が高い所にあるため、集落に達するような土石流のおそれは小さいと考えられます。

なお、御嶽山における 1979 年 10 月の同程度の噴火から 1 週間後に降った時間雨量 10mm 総雨量 39mm の降雨では、集落に及ぶような土石流被害等は発生していません。

しかし、現在予想されているような通常の雨であっても、河川において、火山灰の影響で通常以上の増水が発生するおそれがあることから、降雨時には、河川、溪流沿いの土地の立ち入りは避けるとともに、川沿いの家屋に居住している方にはより安全な場所への避難を呼びかけてください。

また、御嶽山周辺では、大雨の際には、土石流による被害に対する警戒が必要であり、土砂災害警戒情報等に注意し、避難体制を確立するなど適切に対応してください。

今後、調査の進捗により、随時、情報提供を行って参ります。

御嶽山の噴火による被害状況等について（第7報）

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	9月27日	12:36 注意体制			
		13:45 非常体制			
	9月28日	17:00 非常災害対策本部			
関東地方整備局	9月27日	14:00 注意体制	北陸信越運輸局	9月27日	12:50 注意体制
中部地方整備局	9月27日	12:36 警戒体制	中部運輸局	9月27日	15:00 注意体制
		14:45 非常体制			
国土地理院	9月27日	12:36 注意体制	気象庁	9月27日	12:36 警戒体制
		13:45 非常体制			17:00 非常体制

2. 噴火の概要

- ・ 9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を3キロメートルを超えて流れ下る噴煙を観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。なお、火山性微動が継続していることから現在も噴火が継続していると推測される。
- ・ 御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・ 9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・ 9月28日中部地方整備局の協力を実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められた。
- ・ 9月29日19時20分頃から火山性微動の振幅がやや大きくなった。9月30日01時15分頃からは一時小さくなったが、9月30日06時12分頃から再びやや大きくなり、その後増減をくり返して、現在も継続している。10月01日0時頃から振幅が徐々に小さくなり、10月01日13時頃からは9月29日19時20分以前の状態に戻っている（10月02日9時現在）。
- ・ 10月2日9時現在、噴煙の高さは視界不良のため不明である。

【噴火警報の発表状況等】

- 9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）
噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）
※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- 対象市町村等
 - ・ 長野県：王滝村、木曾町
 - ・ 岐阜県：高山市、下呂市
- 防災上の警戒事項
 - ・ 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流等に警戒が必要
 - ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
 - ・ 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

- 9月27日13時35分 ～ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示
- 9月27日16時 ～ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表
- 9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

3. 気象の見通し

- ・御嶽山の山頂付近は、今日2日08時現在、10メートル程度の南西の風が吹いていると見られる。今日は南西の風10メートル程度、夕方からは15から20メートルの見込み。明日3日は、南西の風15から20メートルの見込み。
- ・御嶽山周辺の天気は、概ね曇りで、昼過ぎから時々雨となる見込み。明日3日は曇りで日中を中心に雨となる見込み。
- ・明日（3日）朝までに予想される雨量は、多いところで30～40ミリの見込み。その後4日朝までにさらにおよそ30ミリの雨が降る見込み。

4. 国土交通省の対応

- 9/27 14:25大臣防災センター登庁（対策を指示）
- 9/27 14:30気象庁記者会見
- 9/27 14:40第1回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/27 15:43第2回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/28 10:30御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を開催
- 9/30 北川国土交通副大臣が現地入り
- 政府現地対策本部へ派遣
 - ・国土交通本省より1名派遣、中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣(9/28～10/2)
- 官邸リエゾンを派遣（9/27～10/2）

【救助、下山支援】

- リエゾン（情報連絡員）の派遣
 - ・自治体支援（長野県、長野県王滝村、長野県木曾町、岐阜県、岐阜県高山市、岐阜県下呂市）のため最大11名派遣(9/27～10/2)。
- 専門家の派遣
 - ・国総研、土研より砂防専門家3名を派遣（国総研1名：9/27～29、10/2～）（土研1名：9/27～10/1、1名：9/27～）（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策の検討・助言するため）

○災害対策用機械等出動状況（10月2日9:00現在）

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	長野県木曾郡王滝村（田ノ原駐車場）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	2	稼働後撤収済	9月27日～9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働後撤収済	9月27日～9月28日
中部地整	長野県木曾郡開田村（開田登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働後移動	9月27日～9月28日
	長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口）				稼働後撤収済	9月27日～9月28日
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	1	稼働後撤収済	9月27日～9月28日
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中	9月29日～

中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中	9月29日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
					待機中	10月1日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	路面清掃車	2	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	散水車	3	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機後撤収	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機後撤収	9月29日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	散水車	1	待機後撤収	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	搜索活動支援（ヘリポート）	散水車	1	待機後撤収	9月30日～ 10月1日
中部地整	長野県木曾郡大滝村（松原スポーツ公園）	搜索活動支援（ヘリポート）	散水車	1	待機中	10月1日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村（八海山登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡王滝村 王滝村役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働後撤収済	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	衛星通信車	1	稼働中	9月29日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	Ku-SAT	1	稼働中	9月29日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	土石流監視	Ku-SAT	1	出勤中	10月2日～

※災害対策用機械等最大14台派遣。

- ・9/27より照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は4:20作業完了。

【二次災害防止対策】

○9月28日、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手。

○TEC-FORCEの派遣

- ・救助・下山支援および被災状況把握、応急対策実施等のため最大19名派遣(9/27～10/2)。

○防災ヘリコプターによる被害状況調査

- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27 15:20～)。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/28:2回、9/29:1回、9/30:1回)。

- ・ 関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30:1回)。

○地上における状況調査

- ・ 地上より降灰状況調査を実施。UAV(無人ヘリ)を用いて立入規制区域を含めて調査を実施(9/29)。

○関係自治体等への情報提供

- ・ 関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。

- ・ 関係自治体に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」の情報提供を実施。

○今後の応急対策に資する備蓄資材(大型土のう袋等)を確保済み。

○監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川(※白川については、長野県において設置予定)に設置するための現地調査を実施中(9/30~)

○砂防堰堤設置

- ・ 流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積堰堤1基(4tブロック使用)を設置中(10/2~)

【その他】

○長野県道1路線で噴火による通行規制を9月27日14:20から実施中

上記の外に、町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中

○9月28日19:05 防衛省と調整し、「9月28日19時05分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径5NM(約9.3km)以内、地上から11,000ft(約3,400m)までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報(ノータム)を発行(9月28日11:51に発行した航空情報を更新)。

○気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報(ノータム)を9月27日12:21に発行。以降、継続して発行(28通目10月2日9:11)。

5. 気象庁の対応

○御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。

○噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。

○気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13時55分~、気象庁:9月27日15時40分~)

○降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日~)

○火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)

○御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。

○長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日~)

○長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気予想)を提供(9月28日5時~1日2回の提供)

○国土交通省中部地方整備局のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)

○陸上自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)

○気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)

○火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表(9月28日)

○政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他3名を派遣(9月28日~)

6. 国土地理院の対応

- ・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中（9月27日）
 - ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施（9月28日）
 - ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真を関係機関へ提供（9月28日）
 - ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開（9月28日）
 - ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影および航空機SAR観測を実施（9月29日）
 - ・28, 29日撮影の斜め写真による3D動画をホームページで公開（9月29日）
 - ・政府の現地対策本部に職員1名を派遣（9月29日～）
 - ・御嶽山の噴火周辺地域の航空機SAR観測を実施（9月29, 30日）
 - ・29, 30日に観測したSAR画像から推定した火口位置とSAR画像をホームページで公開（9月30日）
- URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

7. 一般被害の状況

○警察庁情報（10月1日19:00現在）

・人的被害

長野県：死者47人、負傷者59人（※負傷者59名は病院に収容された負傷者数）

岐阜県：負傷者10名

8. 所管施設等の状況

○河川（10月2日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○管理ダム（10月2日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○土砂災害（10月2日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○道路（10月2日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○鉄道関係（10月2日9:00現在）

- ・9月27日 12時55分より御岳ロープウェイは運転休止

○航空関係（10月2日9:00現在）

- ・空港施設等被害情報なし
- ・欠航便情報なし

○自動車関係（10月2日9:00現在）

【御遺体搬送関係】

長野県からの要請により、長野県トラック協会、全国霊柩自動車協会が以下のとおり対応（御遺体搬送のための延べ車両数22両）

- ・9月28日 御遺体の搬送のための車両（4両）手配
- ・9月29日 御遺体の搬送のための車両（2両）手配
- ・9月30日 御遺体の搬送のための車両（6両）手配
- ・10月1日 御遺体の搬送のための車両（10両）手配

【バス関係】

- ・おんたけ交通 バス3路線運休中

- 海事関係（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 港湾関係（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 物流関係（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 下水道（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 公園（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 宅地（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 公営住宅関連等（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 官庁施設（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 観光関係（10月2日9:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
--